

「川上小学校の川上踊伝承活動の取組」

1. 学校名	いちき串木野市立川上小学校
2. 学年・人数	4年生以上の希望者（5名）、地域保存会
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年8月 川上小学校校庭 (2) 発表の日時・場所 令和6年8月25日（日） 長田神社、諏訪神社、葛城神社、川上小学校
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 かわかみおどり 川上 踊 (2) 由来 今から四百数十年前、五穀豊穡と平和を祈念して創始されたものと伝えられている。 毎年8月26日を踊りの日と定め、踊り続けられてきたが、戦時中から中断していた。その後、昭和39年から復活した。現在では、原則として8月末の日曜日に踊り、川上踊保存会によって毎年行われている。 (3) 構成等 踊り子は太鼓14人、鉦4人からなり、踊り子は下と上に別れ踊りの型が異なっている。踊りの種類は、①門係②庭入③庭取④後すざり⑤荒川⑥チャンチャコ⑦ササラ⑧片セキ⑨高飛⑩コ克蘭⑪横飛⑫コ克蘭の出切⑬四十べ⑭サシ鐘⑮楽⑯モッコンコンノヌカシ⑰回節⑱入コシ⑲庭崩⑳ツンテン㉑唄㉒七夕㉓謝礼）の23演目がある。一踊り約40分かかる。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	以前は、文化財少年団・PTA及び川上踊保存会が中心となって運営していたが、学校の児童数減少に伴い、現在は、川上コミュニティ協議会が運営をし、小学生は希望者を募って参加をしている。また、学校教育活動としては、高学年の総合的な学習の時間に「ふるさとを伝えよう」のテーマで川上地域の調べ学習を行い故郷の文化に親しむ学習を行っている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  諏訪神社での踊りの奉納 川上小学校での踊りの披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	○ 川上踊は2回目较去年よりは緊張しませんでした。私は初めてしたときよりあまり疲れずに上手に踊れました。来年も川上踊をしたいです。【4年生児童】 ○ 川上踊を初めてやって、みんなに見られながら踊ったので少し緊張していたけれど、踊っているうちにだんだん楽しくなってきました。【4年生児童】 ○ ぼくは、より踊りが上手くなり、「練習を頑張ってよかったな。」と思いました。地域の方との交流も増えました。【5年生児童】 ○ 最後の庭の小学校で、熱中症になり、最後まで踊れなかったのが悔しかったので、次回は最後まで踊れるように体力をつけて踊りたいです。【6年生児童】